

# 今、人生100年時代に思うこと…

(一財) 地域社会ライフプラン協会 稗田 稔

人生の大きな節目のひとつでもある定年退職。同僚の一人も語っています。"人生の中で、旅の岐路に直面している方々へのカーナビ役として 常に皆さんのお手伝いをしたいと考えているのが私たちの職場、地域社会ライフプラン協会"ですと。そうです、どうぞお気軽にお声をかけて下さい。

人生七曲りしてきた私も早60歳を疾うに越えてしまいました。あれよあれよと言う間に 私自身も生前の父親の歳を越してしまいましたが、これまで大病とは縁のなかった自分に本当に感謝をしています。

これから先、いずれ訪れるであろう"人生100年時代"を健康で迎えるには、まだまだ2度ほどの成人式を迎える事になります。悠々自適な生活を過ごすにはまだまだ先が長くあるわけで、皆さんと共に充実したより良い生活を送っていきたくと常に願っています。

さて私の場合、これと言って、取りたてて人に言えるほどの趣味ではありませんが、この季節、週末の我が家は、近くの園芸店に出かけ、多くの花々を車一杯に買い求めては、庭に植え、土いじりの喜びを感じながら休日のひとときを楽しんでいます。玄関先にはこの時季、色とりどりの彩りある花々が、限りある日々の中で、今を盛りと咲き誇っており、お散歩帰りのご近所さんの目を楽しませています。

今では街路樹としてよく見かけようになったハナミズキの木も、我が家ではシンボルツリーとして今も大切に育てており、例年この時季になると薄紅色の可憐な花びらを木々一杯に魅せて咲いてくれています。これから初夏を迎え、さらにバラ等、多くの花木が自身の輝きをいち早く多くの人にも見てもらおうと、次のスタートラインに立ち 出番を待っているかのようです。私も笑みを浮かべては その輝き香る瞬間を今か今かと心待ちしているところです。

そんな週末のひととき、マイフェバリットソングでもある人生の応援歌として今も聴いているのがダイアナ・ロスの名曲「If we hold on together」です。スローなナンバーとして、この曲をバックグラウンドミュージックとして流しては、ぼんやりとささやかな時の幸せを感じながら、今はやりのガーデニングの魅力に触れエンジョイしています。

午前零時、とある深夜のFM番組。今も多くのリスナーの心を魅了して止まない長寿番組の一つに

「ジェットストリーム」があります。今の私には既に「お休みtime」となってしまう時間帯ではありませんが、先日たまたま耳にする事が出来ました。若かりし頃、オープニングのテーマ曲として流れる、あの「ミスター・ロンリー」の軽音楽を聴いては、よく癒しの時間や空間を感じていました。今ではその夜間飛行のパイロット（パーソナリティ）も既に城達也さんから変わりましたが…。別に「あの頃はよかった」などと懐古趣味に浸るつもりはありませんが、若かりし頃の自分にほんの一瞬でもタイムスリップすることができた瞬間、何か不思議と心地よい気分にもなり、一層懐かしさがこみ上げてくるものがありました。

人生は後戻りできない…、引き返せないわけで、残りの人生においても、その場面 場面において、これまでと同じ、人との出逢いの喜びや別れの悲しみをいつまでも忘れずに持ち続けていきたいと思っています。

ご存知、ネイティブ・アメリカン（インディアン）の言葉にも、このような人生を豊かにしてくれる名言があります。

「あなたが生まれた時、あなたは泣いて周りの人はみんな笑っていたでしょう。だからいつか、あなたが死ぬ（逝く）時は、周りの人が泣いて、あなたが笑ってられるような、そのような生き方をしなさい」と。

今朝の朝刊の運勢欄に、ふと何気なく目をやると「情熱さえあれば、人生いつても青春である」の言葉が…、また新たな自身を奮い立たせてくれました。

心の持ちようかもしれませんが、60を過ぎてもまだ気持ちは常に青春の中になりたいものです。

職場近くの公園の木々の葉も新緑から、あともう少しで眩しすぎるほどの深い緑へとその彩りを変えようとしています。公園内の片隅にひっそりと佇む柱時計の針が午前8時過ぎを示しています。そろそろ私の出勤時間となりました。

"視界は良好"です！

SMART  
TIMES

